

分野名：団体育成・サークル活動

地域コミュニティから生まれた持続可能な『通学合宿』

～地域の子どもは地域で育てる！を目指して～

新宮町 杜の宮クラブハウス【自治公民館】
杜の宮区通学合宿 実行委員会 中村 嘉雄

1. 事業名

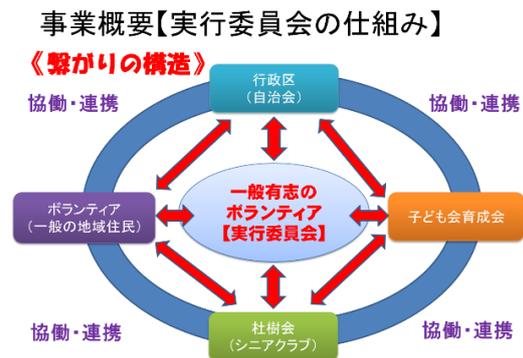
杜の宮区通学合宿

2. 事業の目的

次世代を担う子どもたちが、世代の異なる多くの地域ボランティアの人たちが参加する、「人との繋がり」構造を軸とした「通学合宿」を通して、地域および社会における「責任」と「役割」を認識するとともに、今後地域を「創出」する次世代リーダーの基礎的な素養を身につける。

3. 事業の主体

杜の宮区通学合宿実行委員会
【一般有志のボランティア】
(※「繋がり構造」・・・右図参考)



4. 連携・協力機関・団体等

行政区（自治会）、子ども会育成会、杜樹会（シニアクラブ）、一般ボランティア（地域住民）、新宮小学校教諭（学校） など

5. 事業予算

町助成金（10万円）、杜の宮区助成金（5万円）、参加費（自己負担）

6. 実施に至る経緯

若い世代からなる杜の宮地域「コミュニティ」は、多世代（異学年）「交流」・「共生」の姿勢、意欲が弱い。それらを、多世代が共に主体的に関与する子育て実践（「通学合宿」）を通じて涵養することで、今後の地域コミュニティの自発的な活性化に求められる、次世代継承の意識や行動を促進し、未来のコミュニティを担うリーダーを育成する基礎的コミュニティ力を育むことができると考えたため。

7. プログラム作成の視点

- 近代における「多世代（異学年）との関わり」の必要性
- 居住した地域における「コミュニティ」の創出
- 多世代、異年齢の交流による「人との繋がり」の重要性
- 次世代コミュニティを担うリーダーとその素養の涵養

8. 事業の内容

(1) 通学合宿（事業）のねらい

通学合宿を実施する上では、自治会や育成会のみには任せるのではなく、子どもへの教育に対して、熱意のある地域の一般の有志によるボランティアが中心となって実施することが重要であり、3つの柱を掲げて通学合宿を実施する。

【3つの柱】

①「子どもたちの生きる力の育成」

これから先、変化する厳しい社会を生き抜くための教育として、子どもたちの社会性や自主性、協調性を伸ばし、「生きる力」を育む。

②「学校・家庭・地域との連携」

学校や家庭、地域との関わりを通じた、子どもたちを核とした温もりある地域コミュニティの再生。

③「地域の人との関わり」

地域の中で次世代を担う人達が少なくなって来ている状況で、地域で顔を繋げ、子どもの頃から地域の人達、親同士も常に関わり合いを持ちつつ、楽しい地域を築くとともに、次世代コミュニティを支えるリーダーとその素養を養う地域力を涵養する。

(2) 主な事業の概要

杜の宮区の子どもたちが、集団で学校に通いながら一定の期間、寝食を共にすることにより、仲間との人間関係をより深く体験しながら、社会生活を営む上で、必要な基本的生活習慣や知恵、生きる力を直に感じながら体験する。

①事業の実施主体

杜の宮区通学合宿実行委員会。

一般有志のボランティア

②対象者及び参加予定人数

杜の宮区在住の小学校5年生男女 24名。

③事業の期間

3泊4日（9月～10月）。

④参加費

4,000円。（※子どもたちの食事代や保険代等）

⑤活動の場所

杜の宮クラブハウス（自治公民館）

新宮町杜の宮2丁目840-413

⑥事業費

町の助成金10万円、区の助成金5万円（※主にボランティアの食事代や保険代、宿泊用のリネン代等に使用）、参加費4,000円/人

9. 事業の成果

○成果の“声”

- ・短期期間でも大きな成長を遂げている。
- ・学校では、クラスを超えて広がる友達の輪ができています。
- ・子どもの方から積極的な挨拶ができるようになっている。



- 「地域に拓かれる子どもたち」へと変わっている。

10. 今後の課題

- 参加者（子ども）の異学年交流が、まだできていない。
（※子どもの数に対し、公民館が手狭・公民館の設備不足等）
- 活動の「趣旨や目的」が十分に伝わっていない。

《課題への取り組み》

- 異学年交流の機会をつくるため、中学生（区友会）の積極的な活用。
- 活動の趣旨や目的に対する理解をより一層深める積極的な啓発活動。

11. 問合せ先

〒811-0122 福岡県糟屋郡新宮町杜の宮2丁目840-413

杜の宮クラブハウス（公民館）

TEL : 092 - 404 - 5877